



Smart Software Manager オンプレミス コンソールリファレンスガイド

バージョン 8 リリース 202006

初版 : 2019/10/02
最終変更日 : 2020/7/14

米国本社
Cisco Systems, Inc.
170 West Tasman Drive
San Jose, CA 95134-1706
USA

<http://www.cisco.com>
Tel: 408 526-4000
800 553-NETS (6387)
Fax: 408 527-0883



このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任となります。

対象製品のソフトウェアライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『**Information Packet**』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

シスコが導入する TCP ヘッダー圧縮は、カリフォルニア大学バークレー校 (UCB) により、UNIX オペレーティングシステムの UCB パブリック ドメインバージョンの一部として開発されたプログラムを適応したものです。All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよび上記代理店は、商品性、特定目的適合、および非侵害の保証、もしくは取り引き、使用、または商慣行から発生する保証を含み、これらに限定することなく、明示または暗黙のすべての保証を放棄します。

いかなる場合においても、シスコおよびその代理店は、このマニュアルに適用できるまたは適用できないことによって、発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコおよびその代理店に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークトポロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際の IP アドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco およびシスコのロゴは、シスコまたはその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。シスコの商標の一覧は <http://www.cisco.com/jp/go/trademarks> でご確認いただけます。記載されているサードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。「パートナー」という言葉が使用されていても、シスコと他社の間にパートナーシップ関係が存在することを意味するものではありません。(1110R)



The Java logo is a trademark or registered trademark of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. or other countries



目次

VERSION 8 RELEASE 202006.....	1
PREFACE	4
Objectives	4
Related Documentation.....	4
Document Conventions.....	4
Obtaining Documentation and Submitting a Service Request.....	5
INTRODUCTION TO CISCO SMART SOFTWARE MANAGER ON-PREM CONSOLE.....	7
ABOUT THE SSM ON-PREM CONSOLE	7
ON-PREM CONSOLE HELP DESCRIPTIONS/ACTIONS.....	8

はじめに

ここでは、このマニュアルの目的、構成、および関連製品やサービスに関する詳細の入手方法について説明します。具体的な内容は次のとおりです。

目的

このマニュアルでは、Cisco Smart Software Manager オンプレミス (SSM オンプレミス) に固有のソフトウェア機能の概要について説明します。このマニュアルは、実行できるソフトウェア機能のすべてを説明する完全ガイドではなく、このアプリケーションに特化したソフトウェア機能だけを説明します。

関連資料

このセクションでは、SSM オンプレミスを設定するうえで役立つ他のマニュアルを紹介します。このマニュアルにはSSM オンプレミスの重要な情報が記載され、オンラインで入手できます。

表記法

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
太字	太字のテキストは、1つ以上のステップで使用されるコマンドとキーワードを示します。
イタリック体	イタリック体のテキストは、ユーザが値を入力する引数、または別のドキュメントからの引用を示します。
[x]	省略可能な要素 (キーワードまたは引数) は、角カッコで囲んで示しています。
[x y]	いずれか1つを選択できる省略可能なキーワードや引数は、角カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
{x y}	必ずいずれか1つを選択しなければならない必須キーワードや引数は、波カッコで囲み、縦棒で区切って示しています。
[x {y z}]	省略可能または必須の要素内に、さらに省略可能または必須の選択肢を含める場合は、角カッコや波カッコを入れ子にして示しています。角カッコ内の波カッコと縦棒は、省略可能な要素内で選択すべき必須の要素を示しています。
変数	ユーザが値を入力する変数であることを表します。イタリック体を使用できない場合に使用されます。

表記法	説明
文字列	引用符を付けない文字列。文字列の前後には引用符を使用しません。引用符を使用すると、その引用符も含めて文字列とみなされます。

例では、次の表記法を使用しています。

表記法	説明
screen フォント	スイッチが表示する端末セッションおよび情報は、 screen フォントで示しています。
太字の screen フォント	ユーザが入力しなければならない情報は、 太字の screen フォントで示しています。
イタリック体の <i>screen</i> フォント	ユーザが値を指定する引数は、イタリック体の <i>screen</i> フォントで示しています。
< >	パスワードのように出力されない文字は、山カッコで囲んで示しています。
[]	システムプロンプトに対するデフォルトの応答は、角カッコで囲んで示しています。
!, #	コードの先頭に感嘆符 (!) またはポンド記号 (#) がある場合には、コメント行であることを示します。

このマニュアルでは、次の表記法を使用しています。



注 注釈を意味しています。役立つ情報や、このマニュアル以外の参照資料などを紹介しています。



注意 注意が必要なことを示します。機器の損傷またはデータ損失を予防するための注意事項が記述されています。

マニュアルの入手およびサービスリクエストの送信

マニュアルの入手、Cisco Bug Search Tool (BST) の使用、サービスリクエストの送信、追加情報の収集の詳細については、『[更新情報](#)』を参照してください。

シスコの新しい技術情報や改訂された技術情報を直接デスクトップで受信することをご希望の場合は、[シスコ製品資料の更新情報RSS フィード \(What's New in Cisco Product Documentation RSS feed\)](#) にご登録ください。



注： RSS フィードは無料のサービスです。

Cisco Smart Software Manager オンプレミスコンソールの概要

SSM オンプレミスコンソールについて

SSM オンプレミスコンソールは、SSM オンプレミスの導入、設定、および管理に使用するコマンドライン インタープリタ (CLI) です。オンプレミスコンソール (onprem) は Linux ベースであり、SSM オンプレミスを管理するためのセキュアなアプローチを提供します。

オンプレミスを導入したら、CLI に移動します。

次のオンプレミスコンソールのヘルプコマンドは、高可用性に固有のものであります。

次のコマンドを使用して、SSH シェルを開きます。

```
>>ssh admin@<ip address of server>
```

パスワードを入力するように求められます。管理者パスワードを入力します。

```
<Admin password>
```

次のコマンドを使用して、オンプレミスコンソールにアクセスします。

```
onprem-console
```

ヘルプメニューにアクセスするには、次のように入力します。

```
help or enter "?"
```

各コマンドのヘルプを表示するには、次のように入力します。

```
Help <command> or enter "?"
```

この <command> は、ヘルプ定義表に記載されたコマンドに置き換えます。

オンプレミスコンソールのヘルプの説明/アクション

オンプレミスコンソールのコマンドのヘルプを、以下にアルファベット順で示します。

コマンド	説明/アクション
ha_deploy	<p>このコマンドは、アクティブノードで HA を設定します。このコマンドは、最初にスタンバイがプロビジョニングされていることを確認してから、ha_provision_standby コマンドに進みます。</p> <p>このコマンドは、次の引数を取ります。 アクティブ IP、アクティブノードのプライベート IP アドレス、スタンバイ IP、仮想 IP、HA クラスタのパスワード（スタンバイのプロビジョニングステップで作成）。</p> <p>* 何らかの問題が発生した場合は、両方のノードで ha_tearardown コマンドを実行し、スタンダロンモードに戻してからやり直してください。</p>
ha_provision_standby	<p>このコマンドは、HA クラスタを導入するための前提条件となる、スタンバイノードのプロビジョニングを行います。</p> <p>このコマンドは、次の引数を取ります。 アクティブ IP、アクティブノードのプライベート IP アドレス、スタンバイ IP、スタンバイノードのプライベート IP アドレス、HA クラスタのパスワード。</p>
ha_status	<p>HA クラスタのステータスを表示できます。実行中のリソース、およびストリーミングレプリケーションのステータスを確認できます。</p>
ha_tearardown	<p>このコマンドは HA からノードを削除することで HA クラスタを破棄し、スタンダロンシステムを確立します。このコマンドは、各ノードで個別に実行する必要があります。</p>
ha_cluster_start	<p>このコマンドは、HA クラスタサービスを開始するために使用されます。</p>
ha_cluster_stop	<p>このコマンドは、HA クラスタサービスを停止するために使用されます。</p>
ha_generatekeys	<p>このコマンドは、プライマリノードでユーザと SSH キーを生成し、HA クラスタの 2 つのノード間の通信チャンネルを保護するために使用されます。</p>
arp	<p>(Address Resolution Protocol) このコマンドは、ARP キャッシュ内のエントリを表示および変更します。ARP キャッシュには、IP ア</p>

コマンド	説明/アクション
	<p>ドレスと、その解決されたイーサネットまたはトークンリングの物理アドレスを格納するために使用する、1つ以上のテーブルが含まれています。テーブルには次の列が含まれています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [アドレス (Address)]: IPアドレス • [HWtype]: (イーサネットなど) • [HWaddress]: 16進数形式 • [フラグマスク (Flags Mask)]: • [iface]: 使用されているインターフェイス
change_password	<p>パスワード変更プロンプトを開きます。プロンプトに従って、パスワードを変更します。</p>
copy	<p>指定されたファイルまたはディレクトリをコピーします。</p> <p>The copy command only works with SCP protocol. The copy command would follow this general format: copy username@domain:/source_file/destination_dir:</p> <p>Here is a specific example of the copy command: copy user@domain.com:/path/SSM_On-Prem_8-202006.sh patches:</p>
curl	<p>HTTP、HTTPS、LDAPなどのサポートされているプロトコルを使用して、ネットワークサーバとの間でデータを転送します。ユーザ操作なしで動作するように設計されているため、シェルスクリプトを使用する場合に非常に役立ちます。</p>
database_backup	<p>このコマンドは、システムのバックアップを実行し、バックアップディレクトリに保存します。</p>
database_restore	<p>指定されたデータベースを復元するプロンプトを開きます。プロンプトに従ってデータベースを復元します。</p> <p>復元するデータベースの場所を指定する必要があります (database_backupを参照)。</p>
delete	<p>指定したファイルまたはディレクトリを削除します。</p>
dir	<p>指定したディレクトリ内のすべてのファイルを表示します。</p>
disk_usage (du)	<p>サーバ上のファイルとディレクトリのディスク使用状況を確認します。テーブルには次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [ファイルシステム (Filesystem)]: ディレクトリ • [サイズ (Size)]: ディレクトリのサイズ • [使用済み (Used)]: 使用済み領域

コマンド	説明/アクション
	<ul style="list-style-type: none"> • [空き (Avail)]: 空き領域 <p>[使用率 % (Use%)]: 使用済み領域の量をパーセンテージで示します。</p> <p>[マウント先 (Mounted on)]: ファイルシステム (ディレクトリ) が存在するパーティションを表示します。</p>
hostname	<p>このコマンドは、ホスト名の他に、オペレーティングシステム、カーネルバージョン、および仮想化ツール (ユーティリティ) の情報を表示します。</p> <p>注 : HA クラスタをセットアップする前に、各ノードに異なるホスト名が設定されている必要があります (1 つのノードを他から区別するため) 。ホスト名は、初期インストール時、または後でオンプレミスコンソールから設定できます。</p>
logs	<p>SYSLOG などの指定されたディレクトリに保存されているログを開きます (管理者パスワードが必要になります) 。 logs を終了するには、 Ctrl+C を使用します。</p> <p>これは「ライブ」のイベントであるため、現在発生しているログエントリが読み出しに表示されます。</p>
netstat	<p>TCP のネットワーク接続、ルーティングテーブル、多数のネットワーク インターフェイスおよびネットワークプロトコルの統計情報 (アクティブなインターネット接続 (w.0 サーバ)) を表示します。</p>
network_manager	<p>ネットワークマネージャを開きます。これは、コンピュータネットワークの使用を簡素化するソフトウェアユーティリティです。</p> <p>このユーティリティにより、次のことが可能になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 接続の編集 • 接続の有効化 • システムのホスト名の設定
nslookup	<p>ネームサーバルックアップツールを開き、Linux で DNS ルックアップを実行します。このコマンドを使用すると、特定のコンピュータのホスト名や IP アドレスなど、DNS の詳細情報を表示できます。このコマンドは、インタラクティブと非インタラクティブの 2 つのモードで動作できます。</p>
shell_session_limit	<p>このコマンドを使用して、ノードのセッション制限を設定します。また、HA クラスタの各ノードに制限を設定することもできます。デフォルトの制限は 10 です。整数で 1 ~ 999 の範囲で設定します。</p> <p>注 : HA クラスタで各ノードのセッションを制限する場合は、shell_session_limit コマンドを使用して手動で設定する必要があります。</p>

コマンド	説明/アクション
ping	マシンに対して ping を行い、「オンライン」かどうかを確認します。 ping と入力してスペースキーを押し、対象マシンの IP アドレスを入力して Enter を押します。
reboot	マシンをリブートします。
tcpdump	ネットワーク経由で送信される TCP/IP やその他のネットワークパケットを表示するために使用されるユーティリティです。
timedate	マシンの時刻と日付、および NTP サーバ（使用している場合）が表示されます。
top	このコマンドは、サーバおよび使用されているその他のサービスのプロセッサアクティビティを表示します。
tracert	このコマンドにより、パケットがコンピュータまたはデバイスから指定した宛先に届くまでに通過するパスについて、詳細情報をいくつか確認できます。
upgrade	アップグレードのプロンプトを開きます。プロンプトに従ってアップグレードをインストールします（具体的な手順については、インストールガイドの「パッチ/アップグレード」の項を参照してください）。 <ul style="list-style-type: none"> • 使用法 : upgrade <patches:filename>